

野菜の展望

暖冬傾向から変わって、季節相応の厳しい冷え込みが続き、今月も野菜は寒波の影響により露地物・施設物ともに不安定な入荷が続くものと予想されます。冬の寒さは続くものの、2月4日は「立春」で暦の上では春となり、春野菜の売場が徐々に拡大して行くと思われませんが、鍋商材の需要もまだ多いものと思われれます。

根菜類の大根は徳島・千葉産を中心に九州地方からの入荷で、千葉産はトンネル作へと切替わり徳島産もピークを迎えます。人参は愛知産中心の入荷で、鹿児島産は播き直しにより出荷時期が遅れましたが、今後は安定した入荷が見込まれます。蓮根は石川産中心に茨城産の入荷となります。石川産は積雪が収穫作業に影響する時期となるため、状況によっては出荷量が不安定となり、高値基調となる可能性があります。甘藷は石川主体に茨城産の出回りで、石川産は順調な入荷となる見込みです。

果菜類では胡瓜が高知・愛知・群馬産の入荷で、上旬は若干少ないものの、中旬以降からは増量となります。南瓜はメキシコ産が中旬に終了し、ニュージーランド産主力となり順調な入荷予定です。トマトは愛知・岐阜・九州地方からの入荷で、愛知産のファーストトマトは増量が見込まれます。豆類は各産地よりインゲン・砂糖豌豆・スナック豌豆・キヌサヤ・そら豆等の入荷があります。

葉茎菜類の白菜は茨城・九州産（福岡・鹿児島）中心に、愛知・兵庫からの入荷となります。キャベツは愛知産中心に九州地方からの入荷です。葱は束物が石川・愛知・大分から、5kgバラ物は埼玉・群馬からの入荷で、数量は前年並みとなります。ほうれん草は岐阜・群馬・茨城・福岡産中心に出回ります。ブロッコリーは九州産主体に愛知、高知産の入荷です。レタスは兵庫・静岡・九州地方からの入荷で、各産地ともに今後の気温低下に左右される場面もありますが、ほぼ平年並みの入荷を見込んでおります。

菌茸類の生椎茸は石川産菌床物中心で、徳島・富山・岐阜・兵庫産等も加えて順調な入荷見込みです。冬期限定の原木椎茸「のと115」についても順調な出回りとなります。なめこ・えのき茸は長野・石川産の入荷です。しめじ類は長野県系統物と企業物中心となります。

土物類の馬鈴薯は北海道産の貯蔵物と鹿児島産の新物の入荷となります。玉葱は北海道産の貯蔵物と静岡・タイ産の新玉葱の入荷を予定しています。

2月は節分やバレンタインデーなど多彩なイベントがありますので、各種企画立案の上、販売拡大にご協力をお願い申し上げます。

《野菜第三部部長 杉本智則》

果実の展望

今月は暖冬傾向といえどもまだまだ寒い日が続き、降雪もあるとの予報で、春はまだ遠いようです。

みかんは長崎・静岡・徳島産の入荷があり、長崎・徳島産はL・Mサイズ中心の入荷となります。今年は表年であるものの、天候不順により前年の9割程度の出荷量となる予想です。徳島産の貯蔵物は十万温州を中心として上旬からの入荷が見込まれます。

中晩柑類は本格的な出荷となり、伊予柑、八朔・デコポン・ポンカン・清見・せとか・甘夏等が愛媛・和歌山・熊本・佐賀・鹿児島・長崎等の各産地より出揃ってきます。数量は少なめですが全体的に品質は良好で食べやすい仕上がりとなっています。

伊予柑は愛媛産主力の出回りで、玉流れは3L中心です。八朔は和歌山産主体に週2~3回の販売予定で、Lサイズを中心とし入荷量は前年並みと見られます。デコポンは鹿児島・熊本・佐賀を中心に福岡・和歌山・愛媛産の入荷となります。各産地の出荷量は前年の9割程度ですが、20玉サイズ中心の若干の大玉傾向と予想されます。

メロンについては静岡中心に高知・熊本産の入荷となります。静岡産については前年並み、高知産・熊本産は前年に引き続き作付面積の減少に伴って出荷量は減少します。

莓は愛知・九州の各産地からさがほのか・さちのか・あまおう・章姫・ゆめのかといった品種が出回り、中旬より二番果の増量が見込まれ、順調な入荷が見込まれます。

りんごは青森産のサンふじ中心に王林・ジョナゴールド等の入荷があります。36・40玉中心の玉流れとなります。

キウイフルーツは33玉・36玉中心に福岡産の入荷で、今年は前年比65%程度の入荷となる見込みです。

輸入果実のバナナはフィリピン・南米産中心の入荷です。フィリピン産は産地の生育不良から入荷量は減少となります。オレンジはカリフォルニア産ネーブル種の入荷ですが、生育不良及び生産原価の上昇により、前年同様高値での推移となる見込みです。ダブルマーコット・ミネオラについては、中・下旬から安定した入荷となる予想です。フロリダ産グレープフルーツはホワイト・ルビー種ともに小玉傾向で、40・48玉中心の入荷となります。レモンはカリフォルニア産の入荷で、安定した入荷が見込まれます。パインについてはゴールデン種が6玉サイズの大玉、スィーティオ種は8・9玉サイズの小玉を中心に安定した入荷となります。トロピカルはメキシコ産ハネジューメロン・チリ産レッドグローブ・メキシコ産アボカドを中心に南半球の商材が増加してきます。乾燥果実では、甘栗・干芋・干柿等の順調な入荷が見込まれます。

今月も何卒宜しくお願い申し上げます。

《常務取締役（野菜本部長） 大西 信哉》